



新潟県

公民館月報

昭和51年 8月号

発行所 新潟県公民館連合会
【新潟市一番町通町・県教育庁社会教育課内】
【電話・(新潟) 28 6111 内線 326】 【振替新潟 4094】

発行人 会長 石井 耕一
編集人 事務局長 本田 清

【定価1部 70円 年極 840円】

炎天の下

どこを見回してみても
なにひとつ

自分の手でつくった品物がない
というおぞましき

食べるもの、読むもの、乗るもの、
すべてが誰かがつくってくれたものにとりまかれながら

けずろうとするエンピツ一本さえ

目の前の電気エンピツけすり機
が、キューンとひと回りするだけ

炎天の下、干物一枚ひら裂くことも
知らず

ほんとに冷房のきくところが最高
だと思っっているのだろうか。

(本)

(写真・粟島にて・本紙)

県公民館大会被表彰者・館

公民館

糸魚川市下早川公民館

柏崎市中鱈石公民館

・公民館運営審議委員・非常勤公民館職員

	氏名	所属公民館
1	山本 万千代	新潟市公民館赤塚分館
2	明間 鉄太郎	新津市公民館
3	石崎 石衛	新津市公民館
4	井浦 石松	新津市公民館
5	中川 隆彰	新津市公民館
6	丸山 治郎	小千谷市公民館
7	小林 いる	白根市公民館
8	葦沢 誠治	中之島村公民館
9	長谷川 一郎	中之島村公民館
10	高木 三郎	中之島村公民館
11	室橋 敬次	中之島村公民館
12	佐々木 芳男	中之島村公民館
13	大久保 ミサホ	中之島村公民館
14	川岸 博	畑野町松ヶ崎公民館
15	本間 昭一	畑野町松ヶ崎公民館
16	松谷 栄一	柏崎市西中通公民館
17	丸山 朝雄	加茂市公民館
18	酒井 徳一	広神村公民館
19	丸山 星雄	糸魚川市今井公民館
20	中村 得龍	糸魚川市小滝公民館
21	植木 諱子	柏崎市中鱈石公民館
22	金内 与一郎	白根市公民館
23	佐野 ヨシ	三条市大崎公民館
24	大浦 政義	見附市比谷公民館

昭和51年度公民館施設費
国庫補助対象館と補助額

国庫補助対象公民館	工事費総額	補助額 (千円)
豊栄市中央公民館	212,000	49,700
黒川村公民館	248,096	37,400
村上市岩船公民館	69,003	20,600
三条市大島公民館	50,467	11,200
妙高高原町公民館	114,842	29,800

もうすぐ
県公民館大会
9月24日午前10時
柏崎市で会いましょう

[参加申し込みは8月28日までに]



第二回評議員会

50年度決算を承認
特別分担金内規を改正

【土地改良会館で開かれた第二回評議員会】

さる七月十三日、新潟市の土地改良会館で第二回評議員会が開かれ、昭和五十年度の決算が承認されたほか、公民館振興対策特別分担金内規の改正が承認された。また、新副会長に下越公連会長 荒木石三氏(水原町公民館長)が推せんされ承認された。

大会被表彰者・館の決定

当日の出席者は、石井会長以下二十名、議長は油田裕氏(下越市)をきめ同日開かれた理事会の報告をきき、議決された事項は以下のとおり。

△報告事項▽

・非常勤公民館職員被表彰内申

山梨県石和町において九月七

△審議事項▽

①昭和五十一年度公民館施設費国

会を開催することになった。

者は、二十名あったが、そのうち議長であった若千名については再照会のうえ確認してから決定することになった。

公民館表彰の内申は、館あり、内申もあり糸魚川市下早川公民館、柏崎市中鱈石公民館の二館を決定した。

八日開催される。参加とりまめは都市公連でお願いたい。②全国公民館大会について。別稿要項のとおり開催されることになった。ことは、五十周年記念中央大会として皇今と夫妻をお招きし、関野中借静公連の役割分担により迎せられる。よって次のことと協賛のうえ参加申し込みをしてほしい。会場スペースに限度があるので、各県の参加者を制限する。本県の割り当て数は五十五名である。したがって申し込みを厳格に受け付け、制限数を越えた場合は切符のあつせんはしないので参加者ごとに早目に宿舎を確保してほしい。

③昭和五十一年度公民館施設費国庫補助について。別稿のとおり前年度実績より補助額が大幅にアップした。

④公民館振興対策特別分担金内規の改正について。公民館振興対策特別分担金内規に定める割り当て額の二百分の二を千分の十五とすることに改正した。

⑤昭和五十一年度全国公民館大会(新潟大会)について。八月下旬に原社会教育課、新潟市社会教育課、同中央公民館、下越地区公連、佐渡郡公連、中越地区公連、県公連の代表者を招き、第一回準備打ち合わせ会を開催することになった。

⑤公民館職員被表彰内申。山梨県石和町において九月七

八日開催される。参加とりまめは都市公連でお願いたい。

減入決算額七百九十五万八千五百五十九円に対し、歳出決算額七百七十四万二千四百三十二円、繰越金二千二百七十七千二百七円を承認した。

公民館の今日的使命



本稿は、県教育月報の「公民館特集」の要請により、本会の石井会長が執筆したものを、とくに許しを得て転載したものである。公民館の現場体験をもつ、教少ない現職市長として、公民館の今日的使命を述べるとともに、県公連の役割を指し示している。——編集者——

自治能力の向上と

「コミュニティーづくり」と

石井 耕一

県公民館連合会 第一期は、高度経済成長を背景と、県下の全公民館が協力し、個々の公民館の充実振興をはかることが目的である。昭和二十五年に結成されたときは、公民館連絡協議会として「公民館の今日の使命」を発表した。昭和四十二年では「公民館の今日の使命」を改題し、「公民館をめぐる情勢の大きな変化により、初期の取り組みは停滞のきざしが見える」として、目的と理念には「基礎は人間尊重、活動の核心は国民の生涯教育機会の確立、究極のねらいは市民の自治能力の向上」と記している。俣谷はなお解明されていない。三天項目がまた新しい書き加えがなされていることである。

れはならない。あるいは第二期に行なわれている。全国総合開発に入ったのかもしれないが、それは計画は、第一次、第二次とも経済開発を基本とした。いま確定中の石油ショックを契機とする経済三全総は、自然との調和による人間的から、低成長、安定成長時代間の特定計画であるとしている。返す政府に提出された第十六次地方自治法は、いまままで続いていたことではなかった。

全国公民館連合会が「公民館のあべき姿」と今日の目標」を発表したのは昭和四十二年である。その時「公民館をめぐる情勢の大きな変化により、初期の取り組みは停滞のきざしが見える」として、目的と理念には「基礎は人間尊重、活動の核心は国民の生涯教育機会の確立、究極のねらいは市民の自治能力の向上」と記している。俣谷はなお解明されていない。三天項目がまた新しい書き加えがなされていることである。

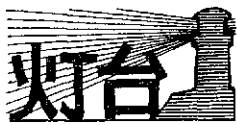
明年度はじめて、新潟市で全公民館大会が開かれる。これを主催する県公連は大へんであるが、これをもって、新潟県の公民民躍進の機とした。いまままで寄せられた各方面の指導と協力を心から感謝し、今後ともより一層協力したい。(本会会長、公民館連理事・農業市長)

公民館と何行か。三十年の歴史を振り返り、公民館は調剤に発展し、今日の使命を果しているか、となる。いまままで問題がある。そのことについては専門家から論述していただくこととして私見を述べた。

公民館の施設の整備、職員の人化は十分に進んだが、諸制度の分化により公民館の活動領域はかつて狭くなった。住民はいたずらに物を金を追ひ、人間としての質を失いつつあると思う。公民館は早く第三期に入らなければならぬ。

公民館は、高度経済成長を背景として整備向上が進められた時代と、個々の公民館が協力し、個々の公民館の充実振興をはかることが目的である。昭和二十五年に結成されたときは、公民館連絡協議会として「公民館の今日の使命」を発表した。昭和四十二年では「公民館の今日の使命」を改題し、「公民館をめぐる情勢の大きな変化により、初期の取り組みは停滞のきざしが見える」として、目的と理念には「基礎は人間尊重、活動の核心は国民の生涯教育機会の確立、究極のねらいは市民の自治能力の向上」と記している。俣谷はなお解明されていない。三天項目がまた新しい書き加えがなされていることである。

公民館は、高度経済成長を背景として整備向上が進められた時代と、個々の公民館が協力し、個々の公民館の充実振興をはかることが目的である。昭和二十五年に結成されたときは、公民館連絡協議会として「公民館の今日の使命」を発表した。昭和四十二年では「公民館の今日の使命」を改題し、「公民館をめぐる情勢の大きな変化により、初期の取り組みは停滞のきざしが見える」として、目的と理念には「基礎は人間尊重、活動の核心は国民の生涯教育機会の確立、究極のねらいは市民の自治能力の向上」と記している。俣谷はなお解明されていない。三天項目がまた新しい書き加えがなされていることである。



お久しぶり、生きておられますか。つとめは、国社社会教育研修所、上野公園内にあり、位置は西郷さんの銅像とちよと対照面を向けて、緑したたる森に包まれたしよ酒蔵二階建ての白亜の殿堂です。

花の都のまんなかで

— 近況報告 —

俣谷 正樹



毎朝、柏葉寺に近い住宅から十五分ほどバスにのり、黒黒駅から国電山の手線に乗り継いで、川口経由で東京駅まで約三十分、あと徒歩で十分ほど、上野寛永寺と東園国庫博物館に訪れた静かな樹々の蔭道

を歩くと、この走る畫素をたどって運動しています。とて、この運動で利用している国電山の手線は、私にとってはまだ「走る畫素」となっています。どんなに混雑しようとも、(はげな)腰をかけるのこの走る畫素をたどって運動しています。



公民館関係法令集 内容：教育基本法、社会教育法、社会教育施行令、公民館運営設置基準、通達「公民館基準の取り扱いについて」

公民館関係法令集 A5版 34ページ 一部三〇〇円送料別 中込宛 県公連事務局

第27回新潟県公民館大会要項

(参加申込み用紙は各公民館にあります。)

1. 趣 旨

明年度、本県ではじめて開催される全国公民館大会をふまへ、新しいコミュニティの形成と人間性の伸長に果たすこれからの公民館の役割を追求するため、第27回新潟県公民館大会を開催する。

2. 主 催

新潟県公民館連合会 新潟県教育委員会 柏崎市教育委員会 中越地区公民館連絡協議会

3. 後 援

新潟県市長会 同市議会議長会 同町村長会 同町村議会議長会 中越地方市町村連絡協議会 市町村教育委員連合会 県社会教育委員連絡協議会 県社会教育主事連絡協議会 県社会教育協会

4. 主 管

中越地区公民館連絡協議会 柏崎市公民館協議会

5. 期 日

昭和51年 9月24日 (金)

6. 会 場

柏崎市 全体会場 柏崎市民会館
分科会場 中央・西中通・中鯖石公民館

7. 参 加 者

市町村公民館長 同主事その他の職員 同運営審議会委員 市町村長 市町村教育委員会委員および同事務局職員 同社会教育委員 同社会教育主事 同社会教育指導員 その他関係職員

8. 日 程 (別記)

9. 大 会 主 題

公民館のコミュニティづくりに果たす役割

10. 分 科 会

・都市分科会・都市近郊分科会・農山漁村分科会

11. 分科会の研究主題

都市(都市近郊、農山漁村)におけるコミュニティづくりに果たす公民館の役割

12. 分科会の討議内容

公民館のコミュニティづくりに果たす役割は何か。

13. 分科会の討議方法

提案は各分科会とも1市町村1題限りとし、提案を希望する市町村は8月28日までに、提案の題名、理由、簡単な内容と提案者の職、氏名を、大会事務局に送付すること。
同一内容の提案については、大会事務局で調整する場合もある。

大会案内に掲げられた紙上問題提起について質問を希望する市町村は、8月14日までに大会事務局に連絡すること。これに対する回答は大会当日配付の資料の紙上で行なう。

14. 参加費・会食費と参加申込

- (1) 参加費(資料代)は1人につき600円とする。
- (2) 参加者は全員会食を原則とし、会食費は1人につき400円とする。
- (3) 参加申込は別に定める様式の中申込書(市町村ごとにとりまとめること)に、参加費と会食費1人につき1,000円を添え、8月28日までに大会事務局に申し込むこと。
・大会当日の参加申込は受け付けない。
- (4) 市申込書にはかならず・市町村申込責任者・参加希望分科会(第1、第2希望ともに記入)・利用車輛の車種、台数を記入すること。
- (5) 参加申込みを受け付けた大会事務局は、参加証と参加費・会食費の受領書を、市町村申込責任者あてに一括送付すること。

市町村申込責任者は、大会当日受付に参加証を提示し、大会資料、会食券等を一括受領すること。

会場等の都合で希望分科会を調整する場合もある。参加者の参加分科会は参加証に明示する。

- (6) 参加申込の取消・変更については9月11日(大会事務局に必を)までとし、それ以降のものについては参加費、会食費は返還せず、大会当日または大会終了後、市町村申込責任者あてに大会資料を送付する。

<注 意>

・参加申込書(参加費、会食費添付)による申込により受付とする。

15. 大会の評価

市町村申込責任者は、大会当日受付で渡される大会評価表(1市町村1部)に記入の上、10月4日までに大会事務局に送付すること。

16. その他の注意

参加者の宿舎は原則として各自で設営することとするが、不明の時は大会事務局に照会されたい。

17. 大会事務局

〒945 柏崎市諏訪町6-1-6 中央公民館内
第27回新潟県公民館大会事務局
電話 02572 2-2637・3-3340

	10:00	11:00	12:00	13:00	15:00	15:30	15:45	16:00	
受 付	開 会 式	移 設 見 学	会 交 流 交 食	問 題 提 起	分 科 会	移 動	郷 土 芸 能	閉 会 式	解 散



全公連創立
25周年記念

第25回全国公民館大会要項

主催 社団法人 全国公民館連合会
後援 文部省ほか

1. 主旨

昭和21年7月、公民館の創設についての文部次官通達が発せられて30年。このとき、創立25周年を迎えた全国公民館連合会は、終戦後の祖国の復興と民主主義社会を確立するため、地域における社会教育の中核機関たる公民館の振興をはかり、文化の進展に寄与して今日に至った。

しかしながら、公民館の業績はどのような評価を受けているか。また、生涯学習の推進のためどのように期待されているか、われわれ公民館関係者は、過去の歩みに反省と検討を加え、新たな構想をもって真使命達成の実践方策を探究しなければならない。

ここに創立25周年を期し全国の公民館関係者が一堂に会して過去を内省し、将来を展望する研究討議をなすとともに相互の親ほくと提携を深めて公民館の振興をはかろうとするものである。

2. 会期

昭和51年11月25日(木)～26日(金)

3. 会場

国立教育会館講堂(虎ノ門ホール)
東京都千代田区霞が関3

4. 参加者

公民館長・主事その他の職員・公民館運営審議会委員・その他社会教育関係者

5. 日程

第1日(11月25日)

- 10:30～12:00 創立25周年記念式典
- 12:00～13:00 昼食・休憩
- 13:00～15:00 シンポジウム
- 17:00～ 記念パーティー

第2日(11月26日)

- 9:30～12:00 全体会
- 12:00～12:40 昼食・休憩
- 12:40～13:30 アトラクション
- 13:30～15:00 記念講演
- 15:00～ 閉会行事

6. 研究討議主題

公民館の業績を反省し将来を展望しての振興方策はどうかあるべきか

具体的分野	研究討議の主眼点
1. 行財政制度	(1) 公民館振興のため、国に望みたいこと。都道府県・市町村の教育委員会に望みたいこと (2) 社会教育法の改正をどうして促進すべきか
2. 施設・職員の充実	(1) 今後とくに必要な施設の内容はなにか (2) 職員の充実・資質の向上のため、われわれは、なにをすべきか (3) 公民館主事と派遣社会教育主事、社会教育指導員との役割分担はどうかあるべきか。また、その協力態勢はどうかあるべきか

3. 事業の運営	(1) これまでの事業について反省し、将来性を展望して、公民館の事業はどうあったらよいか (2) 「公民館のあるべき姿」は、どう具現化しているか。また、どうして具現化すべきか
----------	--

7. 全体会の討議内容

(1) ブロック大会の研究成果

ブロック大会では、前項、研究討議主題の「具体的分野」に準ずる分科会を設け、その研究成果をブロックの分担にしたがい、全体会で発表する。

(2) ブロックの提案議題

各ブロックから全体会に提案される議題(前号の「ブロックの分担」に限定せず)は1ブロック1題限りとし、件名と提案理由(400字以内)を9月30日までに全公連事務局あてに送付すること。

8. 参加申込と参加費(資料代)

(1) 参加費(資料代)は1人につき1,800円とする。ただし「表彰受賞者」は免除する。

(2) 参加希望者は別に定める様式の申込書に参加費を添え、所属の都道府県公連事務局に9月末日までに申し込むこと。

<注意> 大会当日の参加申込は受け付けないので、予め留意されたい。

(3) 都道府県はこれを取りまとめ、個人申込票に別紙様式の総括表を添え、全公連事務局あてに申し込むこと。

(4) 参加申込を受け付けた時は参加費(資料代)受領書と参加証を各都道府県公連あて一括送付する。

参加証は、大会当日受付に提示し、大会資料と引き換えること。

(5) 参加費は参加しない場合も返還せず、大会終了後、「大会資料」(または「大会記録」と「全公連25年史」を送付する。

(6) 「大会記録」は大会当日会場において申込みを受け付ける。1部実費900円(送料とも)の予定。

9. 昼食の予約・その他の注意

(1) 第1日および第2日の昼食(弁当)は配給を円滑にするため予約制を原則とし、1食につき500円(2日分1,000円)とする。(当日引換えない場合も代金は返還しない)

(2) 予約希望者は前項の参加申込と同時に予約金を送付されたいこと。申込を受けたときは、前項(4)の「参加証」と同時に「昼食引換券」を送付する。

(3) 国立教育会館構内および会場周辺には駐車場がないので、自家用車を利用される向きは留意されたい。

(4) 参加者の宿舎は各自で設営されたい。

(5) 大会第1日は午前10時30分までに必ず会場に到着し、着席を終わるよう留意されたい。

実践記録シリーズ ⑬

北条小唄の大合唱 大成功のコミュニティー祭り

仲野 新一

「実践記録」のあれこれ、いろいろと反響を呼んでいます。あなたもぜひ書いてみてください。



〔北条コミュニティーまつり〕

人々の和を作る素朴な方法の一つとして祭りという形式がある。大阪万博のお祭り広場にヒントを得たわけではないが、北条地区待望のコミュニティーセンター竣工を記念し、去る六月二十七日第一回北条地区コミュニティー祭りが開かれた。

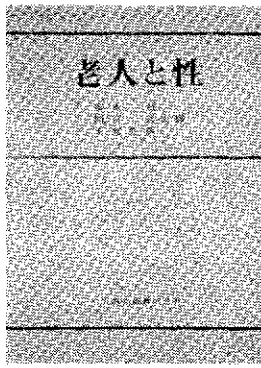
地区の先輩が四五年前に作ったと云われる北条小唄を踊り起して、新しい時代にそくしたものにすため、地区内の風物や旧跡を十二音の詩に補作し、編曲・振り付けを大勢の人々の協力で半年がかりで作った。

祭りは第一部午前九時の祭覧覧会、第二部午後のはなま祭と二部立てとし、中心を「新北条小唄」の発表におき、お祭りの雰囲気を出すために会場内に模擬店を婦人会の手で出すことになった。

第一部の展覧会には老人・婦人・成人・青年が生花・盆栽・手芸・書画・写真・川柳・俳句など巨額の力作百三十点を、第二部芸能の部には小中学生・子ども会・老人クラブ・保育所・婦人会・婦人学級・各種サークルで二十種目二百五十人が出演してくれることになった。

準備万端整い、天候を気にしながら朝からさわさわと、既報の九時を待つ。地区内を時間帯により配車してあった公民館バスの第一陣が着いた。

良書紹介



人間の形成にとって二性の間代性の性思想、老年期の夫婦生活は回避することのできない問題であり、人格完成の終局は性と関係によってあらわされるもので、直からみた老人と性。

著者：佐々木隆
定価 三〇〇〇円(送料共)
A5判 三〇四頁
美しい性の学習
愛情教育
新しい着想による、相互学習のテキスト。
領域が五つに分けられています。一層の花の系は、紫陽花の花の系は、女郎花の花の系は、竜胆の花の系は、臘梅の花の系は。
著者：佐谷正樹
新書判 二二四頁

老人と性
内容は伝統的な性の考え方、現代の性思想、老年期の夫婦生活、老人と再婚、老人と友情、外

老人と性
内容は伝統的な性の考え方、現代の性思想、老年期の夫婦生活、老人と再婚、老人と友情、外

老人と性
内容は伝統的な性の考え方、現代の性思想、老年期の夫婦生活、老人と再婚、老人と友情、外

老人と性
内容は伝統的な性の考え方、現代の性思想、老年期の夫婦生活、老人と再婚、老人と友情、外

車の中は観衆の興奮、これは幸先がよいと言っていると、自家用の車や自転車でも多く集まって来る。子ども連れ、若夫婦、杖をついた老人、日頃公民館に来たことのないお父さん達が、知人の力作を静かに鑑賞しながら展示場を見て廻る。

車の中は観衆の興奮、これは幸先がよいと言っていると、自家用の車や自転車でも多く集まって来る。子ども連れ、若夫婦、杖をついた老人、日頃公民館に来たことのないお父さん達が、知人の力作を静かに鑑賞しながら展示場を見て廻る。

車の中は観衆の興奮、これは幸先がよいと言っていると、自家用の車や自転車でも多く集まって来る。子ども連れ、若夫婦、杖をついた老人、日頃公民館に来たことのないお父さん達が、知人の力作を静かに鑑賞しながら展示場を見て廻る。

車の中は観衆の興奮、これは幸先がよいと言っていると、自家用の車や自転車でも多く集まって来る。子ども連れ、若夫婦、杖をついた老人、日頃公民館に来たことのないお父さん達が、知人の力作を静かに鑑賞しながら展示場を見て廻る。

人会の売店前には菓子の子ども。ジュースを買う者、鉛を買った者、午後の芸能祭に備えカンヌボードルや、パンを買う者でお祭り気分が盛り上がる。

売店の方も大いに売れ、追加追加で大きわき。やがて午後一時芸能の部開演の時には、約七百人の観客が広い体育館を埋めつくした。

まず、バック演奏の楽団サ・マミロースの伴奏に、この日の為用意された「新北条小唄」の歌の発表と歌唱指導が行われ、歌のパンフレットを見ながら、手拍子を打ち鳴らし、会場をゆるがす大合唱となった。

続いて踊りの発表。

老人・子ども・婦人の代表十人程がステージに、他の百人程の踊りを恒例の形で行事として繰り返してはなす。

人会の売店前には菓子の子ども。ジュースを買う者、鉛を買った者、午後の芸能祭に備えカンヌボードルや、パンを買う者でお祭り気分が盛り上がる。

売店の方も大いに売れ、追加追加で大きわき。やがて午後一時芸能の部開演の時には、約七百人の観客が広い体育館を埋めつくした。

まず、バック演奏の楽団サ・マミロースの伴奏に、この日の為用意された「新北条小唄」の歌の発表と歌唱指導が行われ、歌のパンフレットを見ながら、手拍子を打ち鳴らし、会場をゆるがす大合唱となった。

続いて踊りの発表。

老人・子ども・婦人の代表十人程がステージに、他の百人程の踊りを恒例の形で行事として繰り返してはなす。

人会の売店前には菓子の子ども。ジュースを買う者、鉛を買った者、午後の芸能祭に備えカンヌボードルや、パンを買う者でお祭り気分が盛り上がる。

売店の方も大いに売れ、追加追加で大きわき。やがて午後一時芸能の部開演の時には、約七百人の観客が広い体育館を埋めつくした。

まず、バック演奏の楽団サ・マミロースの伴奏に、この日の為用意された「新北条小唄」の歌の発表と歌唱指導が行われ、歌のパンフレットを見ながら、手拍子を打ち鳴らし、会場をゆるがす大合唱となった。

続いて踊りの発表。

老人・子ども・婦人の代表十人程がステージに、他の百人程の踊りを恒例の形で行事として繰り返してはなす。

定価 六二〇円(送料共)

家庭教育読本
内容は 家庭教育と市民性、核家族時代の家庭教育、家庭教育としてつけ、古い家庭教育と新しい家庭教育など

定価 六二〇円(送料共)

定価 六二〇円(送料共)

赤泊村公民館



冠・婚・葬・祭を改善

身近かな課題ととりくむ

【生活改善懇談会】

◎ 赤泊村の自然とくら
人口三千八百九十八人、世帯数
九百八十世帯、佐渡でもへき地
といわれている村。あかどまり

昭和四十七年に自然休養村の指
定を受け、青い海、素朴な心、家
族で憩うとあると村をキャッチフ
ーズに観光面に力を入れてい
る。社会教育施設としては公民
館、地方青年の家、かやの美齋、
自然休養村センターと七月末完成
予定の村民体育館などがある。
本公民館では事業活動推進のた
めテーマを設け活動している。

長期テーマには「赤泊村の自然
と創造」をかかげ、五十一年度の
テーマは「赤泊村の自然とくら
し」としわれわれの身近かなくらし
の問題を見直し、失しなれつ
つある地域連携意識の高揚をめざ
し、文化部、産業部、社会部それ
ぞれテーマに向けて活動を展開し
ている。このテーマの一環として

「生活改善懇談会」がある。
この懇談会が自然生活上一番
関心の深い「冠」「婚」「葬」
「祭」を中心に地域の実情や問題
点をお互いに出し合ひ、少しでも改
善の方向に持っていけることを企
図したもので、第一回は各部落総

代、青年団、婦人会、老人会、農
協婦人部、生活改善グループの代
表者約三十人の参加を得、午後二
時から五時まで熱心な話と合いが
行なわれた。
話し合いの内容は「冠」としては
①成人式の期日の問題…夏か冬
(一月十五日)か、赤泊は現在
冬。②厄年(男四、女三三)
才はどの程度か③仕事や年忌ほ
どの程度か。「婚」としては①引
き出物のどの程度か②会場はどこ
か。一葬については①お札ハカ
キは出しているか②香典返しはど
の程度か③香典料はどの程度か等
について、「祭」については祭の
統一問題などを直接生活に関する内
容のためか意見も活発に出され
た。

学校や講座を開設しても参加率
が悪い中で、こうした住民の生活
に関連した問題から序々に入って
いき、住民の要求課題や意識を把
握していかうかというものです。

◎ 「館報赤泊」の力
館報(P)は文化部員六人が
編集委員になり、毎月二回発行し
ている。この館報は昭和二十四年
に第一号を出してから七月号で二
百四号になり、村民の対話の場と
して、広報紙としての役割りを果



館報「赤泊」は通巻二〇〇号を超えた。赤泊の民
具・みんなの広場などのシリーズものには定評が
ある。

たしてきていた。また出稼にも
届けられ郷土と出稼先を結ぶ大
事な役目も受けもっておりませ

内容も本村の実情を考え、シリ
ーズものとして、Uターン青年の
実態と後継者対策の一環として「み
うもの」に「えどん」、民員の収
びの中心に「三」を作る喜びを見
集と失しなれぬ村内の民員のし
大切さを示唆する意味で表紙に掲
載の「赤泊の民員」、在村青年の
紹介コーナーとして「プロフィール
ル」、過疎に生きる者としてのの
「生きがい」、無医村である本村
の保健対策「健康だより」、村民
の意見の場として「みんなの広
場」、少年の広場「学園の窓」、
行政とのおしらせ「村の窓」
などがあります。

新津市公民館

目的
子供のうちから公民館に親し
み、さん(公民館研究家)・民芸サ
ークルのお母さん達の指導によ
り、同地域生徒の協同作業、上級
生から下級生への指導等をおり
みながら、ハサミ、糸を器用に使
ひ製作した。二百四十名の児童が
「馬作り」に励む児童は壮観だっ
た。

年何回にわたってという継続教
育でなく、夏の少年野球が、昨
と単発的な「教室」と単発的な
であるため、六月二
十六日、土曜日午
後一時から五時まで
の四時間にわたって市
民会館ホールにいっ
ぱいに「子」をしま
めた。

公民館大ホールに、公民
館の歴史がうすく、移動教室等
を含めながら継続教室への推移を
はからなければならぬ。
四年生と五年生の間に製作手
順にかんがひの聞きがあり、指導者
を招きやすさ対策をとり、はな
ればならぬ。
(新津市公民館)

少年民芸教室



(赤泊村公民館)
佐藤一富 主事

対象
市内小学生四・五
・六年生を対象に、
学校に依頼、市広
場等にとも公募し
たところ二百四十名
の参加申し込みがあ
った。

内容
小学校四・五・六
年生が二、三時間
作られるもの、既製
の材料を使わず、度
の高いいもの、家
かんたんにできるも
の等を考え、テキス
投稿歓迎
感想文でも結構、折に
来て気遣いペンを送ら
ください。採用文には
差し上げておきます。
編集部

あの頃のこと



命生きるを願かいもせで
天つ日に

ま向いて立つ吾のころは

ハルビン郊外の忠義者の墓を
広場で私たちは武装解除を受けた

のだ。武装解除など言っても

ゴポー剣と三八式兵銃だけ

極身軽な兵隊だったが、さすがに

何とも言えない異様な空気の漂っ

ていたことを今も覚えている

きない。「特務機関の身分の分る

ものはたとえ銃の写真でも持って

はならない」と言われて、そっと

軍靴の中敷に写真を隠している

年兵を見ても、いつもと違って

合いをかける気にもなれない。ま

さかこれが五六年も縛りシベリヤ

う「飢」をまきわすかつこうの

民館主事、現役時代からの鋭い感

覚と口癖な人柄を買われ、公民館

退職後も民間会社の若い人たちの

ためのカウンセラーを勤めるなど

活躍していた。

このシベリヤ捕虜記は、最近奇

柄を得て右手を失なってしまった

筆者が修練のすえ、左手で書き綴



筆者紹介

大島順平氏は、元足利市立

生活のスタートになろうなんて夢
にも思わなかったのだから。
「故郷の山に似し山あふ山に」
また日は入りぬ
ひと巨容あるか
シベリヤで始めての春だった
う、低い山並を越えて、まるで
ちこむように沈んでゆくまっ赤な
夕日を見ながらの作品だった。た
が口癖に故園に帰りたい念願が
で生きていたその頃の私たちに
って、今日一日の命をばう持も
たえるかが最大の課題だった。道
端の雑草も、じゃが芋の皮も、と
きには藜友の持つ薄っぺらな中食
用のパンの一片までが、絶えず軋
う「飢」をまきわすかつこうの

シベリヤ捕虜記 ①

大島 順平

材料になったものだ。
「看損塔は冷たく凍てり
夕映えて
作業の兵無断し語らず
ライガルの二隅に建てられた看
損塔は、捕虜の悲哀をかきたてる
ものはなかった。三重に張られた
鉄交綱、自動小銃を小わきにした
警備兵、どの一つを見ても敗者の
惨めさを象徴しないものはない。
夕映えの中、二列に並ばされて、
アジーン、ドバーと教えられてい
る捕虜たちの姿にはとても往年の
関東軍兵士の面影は感じられない。
冷たく、黒々と伸びた看損塔の
影を踏みながら物言わぬ男たちは
何を考えていたのだろう。」

「新しき雪踏みゆめは
新しき思ひ沸くあり
この命は、
シベリヤの捕虜生活にもうや
く慣れた二年目の冬、ペラカン
山の収容所で伐採作業をやっ
た頃だった。タボル(斧)とピ
ラ(鋸)だけしかない現場で、乾
いてユフユクと鳴り続ける新雪を
踏みながら私達捕虜は何かを掴
み始めたのだ。倒した大木の下敷
になった戦友も何人かいる。
の海となる山火事に巻きこまれた
仲間たちも少なくなかった。しか
し、このころから、こうした悲惨
な犠牲を乗り越えても生きようと
するたぐまじさか、意識となっ
て仲間の中に思ひ始められたの
だ。」

公民館のバッジ

全国公民館関係者の共通の
シンボルマークとしてデザイン
された「公民館バッジ」を
頒布します。
・赤銅製、直径二・二cm、円
形。中央シンボルマークと
縁どりは鍍金処理。止め金
はタイ・タック式(スチ
ン・ピンにもなる様式)。
・一個 六〇〇円(送料共)
・申込先 県公連事務局

あとがき

関東甲信越静公民館大会(山
梨県金谷町)、新潟県公民館大
会(新潟市)全国公民館大会
(東京都)の順で大会参加申し
込みが許可されます。申し込
べ切口までに遅れないよう申し
込んでください。
× × ×
県大会は、いま新潟市で、最
後の受け入れ態勢づくりに懸命
です。
主顧が「ミニミニテークり
に果す公民館の役割」というユ
ニークさをもって、各地区や郡
市公連でも事前研修に打ち込ん
でいるようです。(本)

第17回 関東甲信越静 公民館大会 要項

- 趣 旨
社会の激しい変化は、住民生活にさまざまな課題をなげかけている。こうしたなかで生涯にわたる学習活動の確立のための公民館の使命はきわめて重要なものがある。
今大会はこれまでの公民館の業績をふりかえりそのあるべき姿をみなおし、住民が何を望み公民館はこれにどのようにこたえていくかを研究協議し、相互の提携を深め公民館の振興をはかる。
- 主 催
関東甲信越静公民館連絡協議会
全国公民館連合会・山梨県公民館連絡協議会
- 後 援
文部省ほか
- 期 日
昭和51年9月7日(火)～8日(水)
- 会 場
石和町 石和観光温泉ホテル (TEL 0255262-2161)
(中央線石和駅前本通り、駅より徒歩5分)
- 参 加 者
公民館職員・公民館運営審議会委員・各都県公連関係者ほか
- 日 程
第1日 9時受付、10時開会行事、11時公民館あれこれ(特色ある公民館の事例)
12時昼食、13時部会、17時運営委、18時情報交換
第2日 9時全体会、シンポジウム、10時半記念講演
12時閉会
- 研究主題
『住民の要望にこたえる公民館の施設や事業をどうすすめるか』
- 部 会
① 行財政制度
② 施設職員の充実
③ 地域生活に根ざす事業
④ 生活文化を高める事業
⑤ 地域の連帯を強める事業
- 記念講演
「信玄と民政」 郷土史家 佐藤 八郎氏